

# 高知福祉専門学校

学校新聞 3月号 学校の行事や魅力を毎月お届けします！

卒業証書授与式	1
卒業お祝いメッセージ	1, 2
保育実習Ⅰ（施設）	3
ミニ体育祭	3

## 卒業証書授与式を行いました

社会福祉学科

介護福祉学科

こども福祉学科

3月15日、四国医療工学専門学校8階すみれホールにて『令和4年度卒業証書授与式』が執り行われました。ピシッと着たスーツや華やかな着姿で続々と会場に集まってくる卒業生。楽しそうに写真を撮る姿が見られましたが、どこか寂しそうな表情を浮かべているようにも見えました。

今年度の卒業証書授与式では、卒業生一人ひとりに校長先生より卒業証書が授与され、保護者の皆様・教職員へ立派な姿を見せることができました。

厳かな雰囲気で行われた卒業証書授与式の後は、学科ごとに卒業生揃っての“最後のホームルーム”。卒業生自ら準備した思い出の動画、クラス担任からのメッセージなど、各学科思い思いの時間を過ごし、解散となりました。

あつという間の2年間・3年間、それとも長く感じた2年間・3年間だったのでしょうか。ただ感じ方は違っても、それぞれの経験を積み、たくさんの思い出を作ったことでしょうか。その経験・思い出には、先生方の存在も大きかったのではないのでしょうか。そこで、先生方より卒業生へのメッセージを頂きましたので、ご紹介いたします。（記者：津野）



## 先生方からの卒業お祝いメッセージ



校長：植田先生

卒業おめでとうございます。  
夢を叶える道は一本道ではないけれど、まわり道も無駄にはなりません。これからの人生に幸多かれと祈ります。  
心より応援しています。

久野先生

卒業おめでとうございます。  
この春からいよいよ社会人。色々な壁にぶちあたることもあると思いますが、壁を乗り越えるたびに、社会人として成長していきます。  
たくさんの壁を乗り越えて、どんどんたくましくなっていって下さい。

小松先生

ご卒業おめでとうございます。  
私が専門学校で学んだ時に、『福祉』は『神様がそこに留まるぐらいの幸せ』と習いました。  
自分自身も周囲の人も幸せになれるそんな笑顔の人であることを願っています。🍀🍀🍀

村木先生

新たな道で、あなた達らしく、輝きますように与えられた時間はみんな同じ  
どのように過ごすかが大切です。  
“感謝”の気持ちを忘れずに、広い視野👁️と深い愛❤️で、多くの方と関わり、何事にもチャレンジしてみてください！ いつまでも応援しています❤️  
思い出いっぱい時間をありがとう🌻

細川先生

こども福祉学科2年生30名、ご卒業おめでとうございます。  
『前代未聞』のことを多々やってのけ、ある意味、担任の人生にとっても印象に残った学年でした。  
各実習や2年後半に行ったクリスマス会・ミニ体育祭での『やるときはやる！』という普段からは想像もできない有言実行をする人達。  
4月からもその精神で人の人生のストーリーに刻まれる保育者となってください。  
2年間一緒に過ごし、思い出作りをしてくれてありがとうございました。



### 中岡先生

卒業生の皆様、御卒業おめでとうございます。2年間、3年間高知福祉で学んだ専門的知識、技術を糧とし、今後更に福祉人としてのプロフェッショナルを目指してください。そして今後、出会う多くの人を幸せにして、自分自身も幸せになってください。これからの人生に幸多かれ！！

### 安井先生

コロナ禍の中、制約が多い2年間の学校生活でした。その中でも何か『できること』『楽しいこと』を考え、2年次には行事を企画し、ハロウィンイベント・ミニ体育祭・出前レクリエーションなど全員が積極的にがんばりましたね。4月からは、介護福祉士としてスタートします。利用者一人ひとりに寄り添い、利用者の方、家族の方、同じ介護福祉士の仲間と笑顔で接し、みんなに頼られる介護福祉士になって下さい。

### 竹中先生

卒業おめでとう。これまでの学校生活で学んだ事を糧にして、社会人になっても活躍して下さい。夢に向かって羽ばたいていくことをお祈りします。体には気をつけて、何かあればいつでも相談して下さいね。



### 中尾先生

ご卒業おめでとうございます。大切な学生生活に携わることができ、ありがとうございました。卒業に向けて、それぞれが努力した一年であったことと思います。担任をさせていただいた社会福祉学科は、友人への気遣いと調和をとって大事にするクラスであり、一人ひとりの事を大事にし、チームとして動く皆さんに感動する日々の連続でした。特に素晴らしい所は、何事においても全員可決しないと絶対実行しないこと。多数決ではなく、可決できるように形を変えながら全員で相談し決めていく姿に、感銘を受けました。

また、クラスでイベントを企画することが好きで、全員が仮装した『ハロウィン』、クラスTシャツを作って挑んだ『ミニ体育祭』、プレゼント交換付きの『あけましておめでとう会』、貸し切りバスを利用して行った『遠足』など、コロナ禍の中で、できないでは無く、どうすれば何ができるのかといったことを『できること会議』で考え、学生生活を過ごしました。

チャンスは自分で掴み取るという言葉がありますが、機会を与えてもらうのではなく、主体的に動き、自分たちで行ったこの沢山の経験は、時に突発的な事態がおこってしまう想定外に対応することや、受け身ではなく主体性を求められるこの福祉職において、糧となることだと思います。

あなた達の学んだカリキュラムでの社会福祉士への受験は、令和5年度が最後となります。在学中から勉強している学生も多いですが、無事に一年の就労を経て受験に合格し、社会福祉士へと羽ばたいてほしいと願います。



### 奥田先生

ご卒業おめでとうございます。これから社会人になり、新しい環境や出会いが待っています。初めてのことに不安もあるかもしれませんが、失敗を恐れずぐずぐず挑戦することで、思いがけないチャンスや成長があるかもしれません。新たな気づきを得るために、日々チャレンジすることが大切です。みなさんのこれからのご活躍を祈っています。

### 津野先生

卒業おめでとうございます。『卒業おめでとう』という言葉には、卒業を祝うだけでなく今後の皆さんを応援する、背中を押す意味もあり、卒業がおめでたいものになるかは自分次第だと思っています。ただ、皆一人ひとり『優しさ』『一生懸命さ』『真面目さ』などそれぞれ自分にしかない『武器』を持っていると思います。その『武器』があれば大丈夫！改めて、卒業おめでとう！！

## 2/2 保育実習Ⅰ（施設）

社会福祉学科

こども福祉学科

2月2日、社会福祉学科・こども福祉学科1年生による保育実習Ⅰ（施設）実習壮行会が行われました。ここでいきなりですが！保育士資格を取得し、障害者支援施設や児童養護施設等で働く人が多くいることをご存知でしょうか？また、保育士資格取得には施設での実習が必須となり、実習後には施設で働きたい！という学生もたくさんいます。

今回の実習も保育実習Ⅰ（施設）ということで、施設で働く“保育士”の仕事内容や他の職種の職員との連携の仕方、支援方法を実際に見て学ぶ内容となります。壮行会では、“中身の入っていない宝箱”が植田校長先生より学生にプレゼントされ、「失敗をたくさんしてきてほしい。そして、失敗に対処するべきだったかを考え、自分なりの答えで宝箱をいっぱいにしてきてほしい」というお言葉がありました。その後も各先生の気持ちの込められた温かいメッセージを受けて、学生たちは送り出されました。

実習開始後の2月9日には、障害者支援施設あじさい園様に取材のご協力を頂き、教員の実習巡回に同行しました。施設長の井上様をはじめとし、職員の高橋様、谷本様にも出迎えていただき、実習を担当して下さっている谷本様には実習生の様子を伺わせていただきました。実習生は生活の様々な場面での関わりを学んでいるようで、実習後半には日中活動の農作業（トマト栽培）も控えているとのことでした。お話の中でお聞きした、「言葉だけのコミュニケーションだけでなく、側で寄り添うコミュニケーションもある」という言葉が印象的でした。

最後には、本校卒業生である矢野様、永野様と実習生との3名で写真も撮らせて頂き、「アットホームな職場なのでぜひ！」とメッセージも頂きました！

コロナ禍で大変な中、障害者支援施設あじさい園様をはじめとする施設の方々におきましては、実習生を引き受けてくださり、誠にありがとうございました。そして、学生の皆さんもおつかれさまでした！（記者：津野）



（左から順に、矢野様、本校学生、永野様）



## 2/24 学生生活最後のイベント ミニ体育祭！

こども福祉学科

2月24日、こども福祉学科2年生の卒業式前最後のイベントとなるミニ体育祭が行われました。学生の要望に応え、担任の細川先生だけではなく、植田校長先生・久野先生・土方先生・村木先生・小松先生も参加し、大人数の体育祭となりました。

まずは5チームに分かれてのバレーボール。私自身も参加しましたが、現役学生の動きに圧倒され、定期的に運動しようと思いましたが（笑）冗談はさておき、皆協力し得点した時には、チーム全員で大喜び。ミスをしてしまった友達には声をかけ、思いやる気持ちをかいま見ることができました。続いては、幼児教育コースと保育士コースに分かれてのコース対抗ドッジボール。ソフトバレーボールを使ったため、ボールの変化が大きく当てるのに苦戦していて、大きいボールをキャッチするのも一苦勞でした。ただ、私自身も小学生に戻った気分で楽しく、学生たちも久しぶりでであろうドッジボールに熱狂していました。どちらも必死に、かつとても楽しそうにプレーしている姿を見ることができました。

お昼休憩では全員が同じお弁当を食べ、午後には大玉転がしやリレーなど体育祭さながらの競技を行い、終了となりました。

終了後、担任の細川先生が「午前も午後もすごい盛り上がりだった」と教えてくれたように、学生一人ひとりの顔がとてもキラキラしていて、顔を見るだけで楽しげな様子が伝わってきました。これで学生生活最後のイベントとなりましたが、とても良い思い出となったことでしょう！（記者：津野）

